

愛媛大學
古典叢刊

7

光源氏秋杪出

伝猪苗代兼載筆本

愛媛
大学

古典叢刊 7

光源氏秋杪寫

伝猪苗代兼載筆本

刊行書目

- 1 伊勢物語 実隆筆天福本
- 2 名女情比
- 3 大山祇神社 法楽連歌上
- 4 大山祇神社 法楽連歌下
- 5 金葉和歌集上 伝為家筆本
- 6 金葉和歌集下 伝為家筆本
- 7 光源氏歌抄出 伝猪苗代兼載筆本
(太字既刊)
- 8 かなめいし
- 9 つれづれ草上
- 10 つれづれ草下

愛媛大学 古典叢刊 7

光源氏歌抄出 伝猪苗代兼載筆本

昭和四十六年七月一日 発行

解説 伊井春樹

発行者 愛媛大学 古典叢刊刊行会

印刷所 株式会社 関洋紙店印刷所

松山市湊町七丁目七番地一

790 松山市文京町三

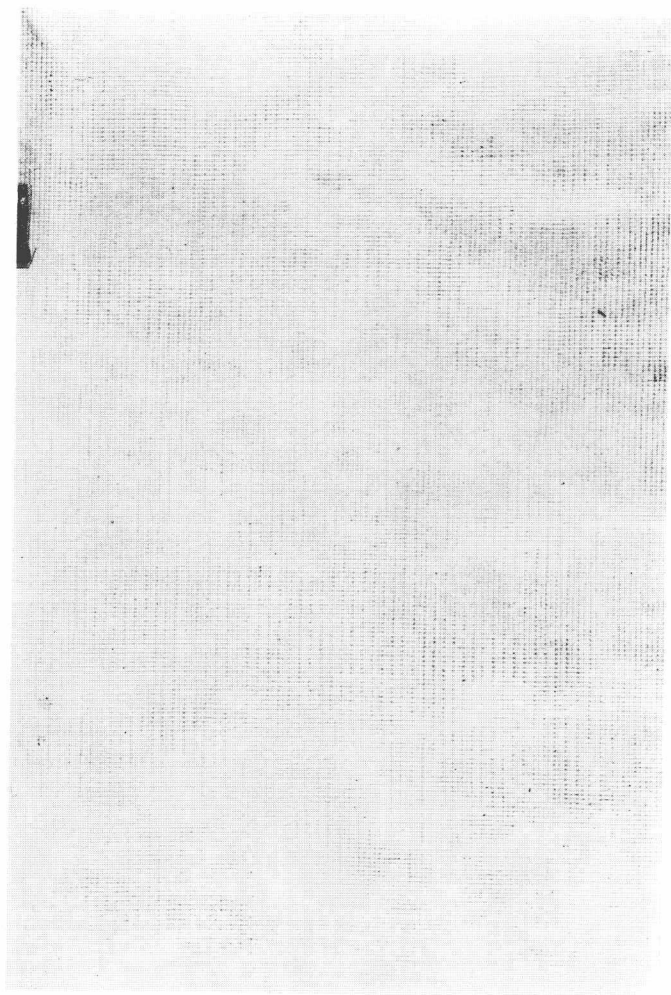
愛媛大学法文学部国語国文学研究室内

発行所 愛媛大学 古典叢刊刊行会

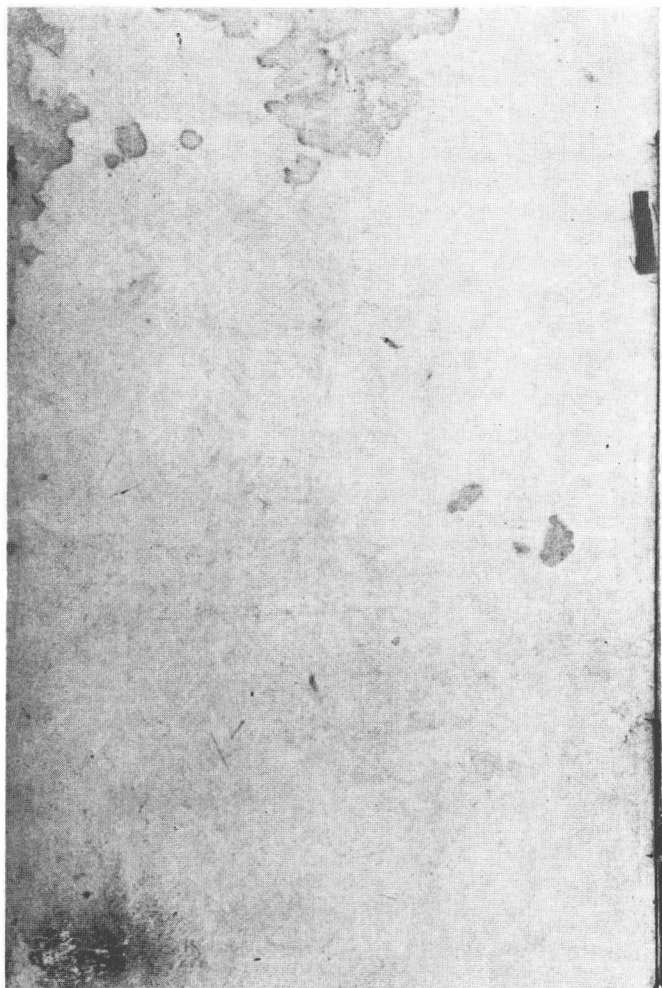
振替・徳島一五三九三



表紙



見返



遊紙才



遊紙ウ

源氏物語秋

さるかに

かきりあむをちふもせられえにちり
少き契をせぬるをさるかにさう地をてあ
そふさるかにとせうりもさるかに
何れもさるかにさるかに

更衣

かきりあむをちふもせられえにちり
少き契をせぬるをさるかにさう地をてあ
そふさるかにとせうりもさるかに
何れもさるかにさるかに



玉子乃久見小亭子
 二妻ふとせ給ふ

太上天皇

ふや野の病吹上風を吹き秋
よりと成思をよやせ

月夜に思ふに此夜よりいかに月夜なる
風はすくなく吹くをむすの世のそ
もはしなくふしと下をたれはふし
なりなり

少々の金

終たつて一月に入ぬ

日

雪のやみぬきくも林の月いそぎた
はらけに花おほくやうはくとも大
とくすけくもあつたま
あふきおほくはくすもくもくもくもく
本よりすくもくもくもくもくもく

左大臣

大正天皇

いそぎに花いそぎいそぎのききき
あつたをむすいそぎやうはくもくもく

こゝろをせしむ

太上天皇

たみけ

むすえけりしむし子なりしむし子なり
けふしむすなり

かみ木

さうはふしむし子なりしむし子なり
けふしむすなり

石ふん

手紙なりしむし子なりしむし子なり
けふしむすなり

さうか女

うしろをふくむとけいふくすくす
うしろをふくむとけいふくすくす
うしろをふくむとけいふくすくす
うしろをふくむとけいふくすくす
うしろをふくむとけいふくすくす

作者注まう

おやめはふくすくすくすくすくすくす
おやめはふくすくすくすくすくすくす
おやめはふくすくすくすくすくすくす
おやめはふくすくすくすくすくすくす
おやめはふくすくすくすくすくすくす

さうはあつて 本うの女

本うはあつて 本うの女

いふはあつて 本うの女

いふはあつて 本うの女

いふはあつて 本うの女

いふはあつて 本うの女

いふはあつて 本うの女

いふはあつて 本うの女

本う

山うの女はあつて 本うの女

そけふまういふれ病思ひこりちま
ゆるきなりふ世にうりふすもれう
お思ひふふくあはれふ家れ病思ひ
さうくおれ思ひふすはつふく思ひ
しれふりふれふおほく思ひ

頭中お

さういふる花ふに思ふわう思ひ
わういふまうわう思ふまう思ひ
さういふまうわう思ふまう思ひ
わういふまうわう思ふまう思ひ

うきうき神も病すに床まあり
 吹ふ秋もさきあり
 雲ふりけりほろろ入ちまゝなうろし
 光るそふすゑはひる
 なむ部
 さこのまのあきしうに名はひる
 とせとよあやまゐたりとつすを
 いふるそとけりし心も物もまゐて
 大のあつちま
 何事れ夜とつとの中よりいふ